

# 雨水貯留タンク設置と管理の手引き

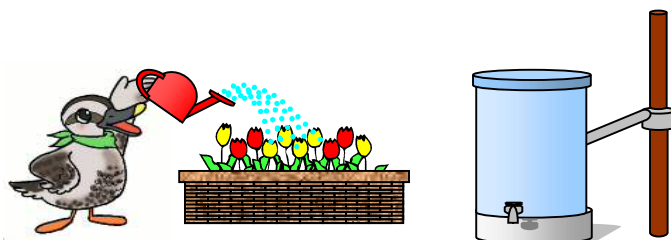
尼崎市 公営企業局 上下水道部

尼崎市雨水貯留タンク設置助成金交付要綱（以下「要綱」という。）の対象となる雨水貯留タンクの設置と維持管理について一般的な注意事項を説明します。

## 1 要綱の対象

助成対象の雨水貯留タンクとは？

建物の屋根に降った雨水を貯留して雨水の流出を一時的に抑制する施設で、尼崎市では1基あたりの貯留容量が80リットル以上で密閉できるもの（但し、製品として購入可能なもの）を雨水貯留タンク設置助成金の助成対象としています。



雨水貯留タンク

## 2 構造等

- ・ 雨水貯留タンク（以下「タンク」という。）は、蚊等の侵入防止が図られるよう密閉できる構造にしてください。
- ・ タンク本体に開閉蓋を設置する場合は、蓋と本体との間に隙間を生じさせないような措置を講ずるとともに、通常時には蓋をはずして事故を起こさないよう蓋を金具で止める等の対策を講じてください。
- ・ 特にタンク本体に取り付ける蛇口は破損しないよう気を配ること、もし破損等に気づいた場合にはすみやかに部品などの交換を行ってください。
- ・ タンクを適切に維持管理し、助成金の交付を受けた日の属する年度の翌年度から7年以上タンクを存続させるよう維持管理を行ってください。

## 3 設置

### 3-1 設置場所

タンクの設置場所は、設置目的と現場の状況をよく考え合わせて決める必要があります。特に設置後に問題を発生させないため次のような注意が必要です。

#### ① 雨樋と取水パイプ等の位置関係

取水パイプは、雨樋を切断して接続させますが、取水パイプの取り付け位置はタンク本体の高さやタンクの下に設置する架台の高さを考慮して決める必要があります。

#### ② オーバーフロー水の流出先の検討

- ・ 取水パイプ下部に水を戻すのが基本ですが、戻せない場合は、近くの雨水枡（中間枡）、雨水浸透枡のいずれかに流出させるか、自然浸透させてください。
- ・ 自然浸透させる場合は、よく水を吸い込む土壌か、また、地面の傾斜のままに水が流れていっても大丈夫かどうか検討する必要があります。
- ・ 既設の排水施設（雨水枡、雨水浸透枡）にオーバーフロー水の排出管を接続させる場合や新たな排水設備工事が必要な場合は、必ずお近くの尼崎市排水設備指定工事店に依頼をしてください。

### ③ 使いやすさや安全性の検討

- ・ タンクをベランダ等に設置した場合、貯留タンクが満水状態になると荷重負荷が大きくなり、ベランダ等の構造上危険となる場合があります。
- ・ タンクの隣に重量物を立て掛けないようにしてください。タンクが転倒する危険性があります。

## 3-2 架台の設置

- ・ 雨水の利用を目的として設置するタンクは、満水状態になるとかなりの重量（容量80リットルで水の重さ80kg＋タンク本体の重量）となり、転倒による事故発生の危険性があります。また、タンクを直接地面に設置した場合には、使いにくいなどの不具合が生じる場合があります。このため、安全性、利便性を考慮して架台等の設置が望まれます。
- ・ 木製の架台を設置する場合は防腐食性の高い堅木とし、併せてタンク転倒防止金具を付けましょう。
- ・ 架台の高さは、蛇口の下にバケツが置ける位の高さを目安とします。

## 3-3 転倒防止対策

タンクは、背後に壁面がある場合は壁面に、壁面がない場合には床面に転倒防止用チェーン等でタンクを固定しましょう。

## 4 維持管理

貯留した雨水は積極的に利用して、降雨前には貯留容量を確保しておき、降雨に備えましょう。

また、タンクの維持管理の方法は次のとおりですが、

### ① 洗淨

衛生上の観点から、定期的にタンク内部の洗淨を行いましょう。

### ② 安全対策

貯留施設の水は、飲料水に適さないことから、絶対に飲み水や料理等に使用しないでください。また、タンクを道路に面して設置する場合などでは、幼児などが誤って飲むことのないよう蛇口をきつく締めておくなど注意が必要です。

### ③ 乾燥対策

木製の貯留施設は、長期間タンクを空にした場合、本体が乾燥し水漏れを起こすことがありますので、長期間に亘って空にしないよう注意が必要です。

問合せ先 尼崎市東七松町2丁目4番16号上下水道庁舎

尼崎市公営企業局上下水道部計画担当 電話 06-6489-6588 FAX 06-6489-7407